

# 緑化推進に善意寄付

## 緑の基金で活用へ



県交通安全施設業協同組合（黒川恵史理事長）は5日、会員から募った善意を、森林整備などの推進に役立てる「緑の基金」に寄贈した。先月行われたチャリティーゴルフコンペで参加者らに呼び掛け集められたもので、黒川理事長から県緑化推進委員会（理事長・森英介衆議院議員）の白石勇一専務理事に目録を手渡した（写真）。

飯田英徳主査とともに同組合事務所を訪れた白石専務理事は目録を受け取ると、「毎年ご協力い

ただき大変感謝いたしております。緑の少年団の活動などに役立てます。ありがとございませう」と感謝の言葉を述べた。これに対して黒川理事長は、「緑の基金の一助となるよう役立ててください。小学生などが緑に関心を持つてもらえばと思います」と答え

た。この寄付は、組合員の福利厚生事業として開いたチャリティーゴルフコンペで集まったもの。同組合では、毎年行っている親睦交流などの機会をとらえて、組合員企業か